

ヨット人命救助のための実践体験トレーニング

皆様、ヨットマンとして当然ながら安全に乗ることを大事にされていると思います
船の装備に関してもそれなりに準備されていると思います
事故が起きないことが一番なのですが、実際事故が起きて救命事態が起きることは一生のうち数回に満たないと思います

こういう事態に備えていざという時に速やかに行動しなければいけないのはもちろんですが、実際その立場になった気持ちというのは事故当事者しかわかりません

そうなった時にどのような心理状態になるのか、どのような気持ちになるのか
座学や口伝えではなかなか伝わりません

いざとなった時に使い方がわからない、やり方がわからないでは全く役に立たない知識です

つきましてはこの度、救命救助にスポットを当てた体験トレーニングを企画します
いざという時にどのような行動をとるべきなのか
どうやって道具を使うべきなのか
体験を通して学び、今後の貴艇のご準備にお役立ていただけたらと思います

- ① ヨットの安全装備について（ライフスリング、エマージェンシーラダー、救急セットなど）
- ② 安全な服装について
- ③ 実際に海に入って海上からヨットを見ます。ヨットからは落水者の状態を観察
- ④ 実際に浮環を投げて落水者を引き寄せます
- ⑤ もし可能ならヨットから落水を体験します（厳重な浮き具着用のもと）
- ⑥ 実際にヨットから落ちるのがどのような衝撃なのか体験します（希望者のみ）
- ⑦ 落水した状態からヨットに上がる体験をします
- ⑧ ライフスリングで落水者を実際に引き上げる体験をします
- ⑨ 自己点火灯の使い方と実際に使ってみます
- ⑩ 実際にヨットで航行中からの落水者救助を体験します（帆走中の場合と機走中の場合）
- ⑪ 引き揚げた時の対処方法と応急処置、AEDの使い方
- ⑫ 帆走時の救助手段、ヒープツーフット練習（帆走で船を止める手法）
- ⑬ 帆走時、機帆走時、機走時に落水者が出た時のヨットの操作（セイルトリム等）
- ⑭ 緯度軽度確認とメーデーコール（無線によるコール）

実際に海に入る状況になります。できれば水着ではなく普段のセーリングギヤでの体験が効果的
と思います。着替えなどご準備ください

泳げない方、水が怖い方は無理のないようなやり方でやります（強制ではありません）
実習はヨット2艇もしくはテンダーによるアシストで行います

今回のトレーニングは保険保証対象外になりますのでご自身で適切な保険にご加入ください

実習期間 2日間（1日約6時間）

参加費用 60000円（税別）

税込66000円

場所 尾道水道沖の穏やかな海域

宿泊 3名まではヨット宿泊可能 各自でホテルをお取りください

日程 令和3年8月8日（日）～9日（祝） 2日間

集合 8日 朝8時 尾道海の駅

ホテル宿泊の方は前日、8日の予約をお願いします

持ち物

ライフジャケット

クルージング用の服装

セーフティハーネス、テザー

グローブ

着替え、水着など

酔い止め薬など

教習艇 ジャヌー37ft ボイジャー使用 プラス救助艇としてテンダー使用